

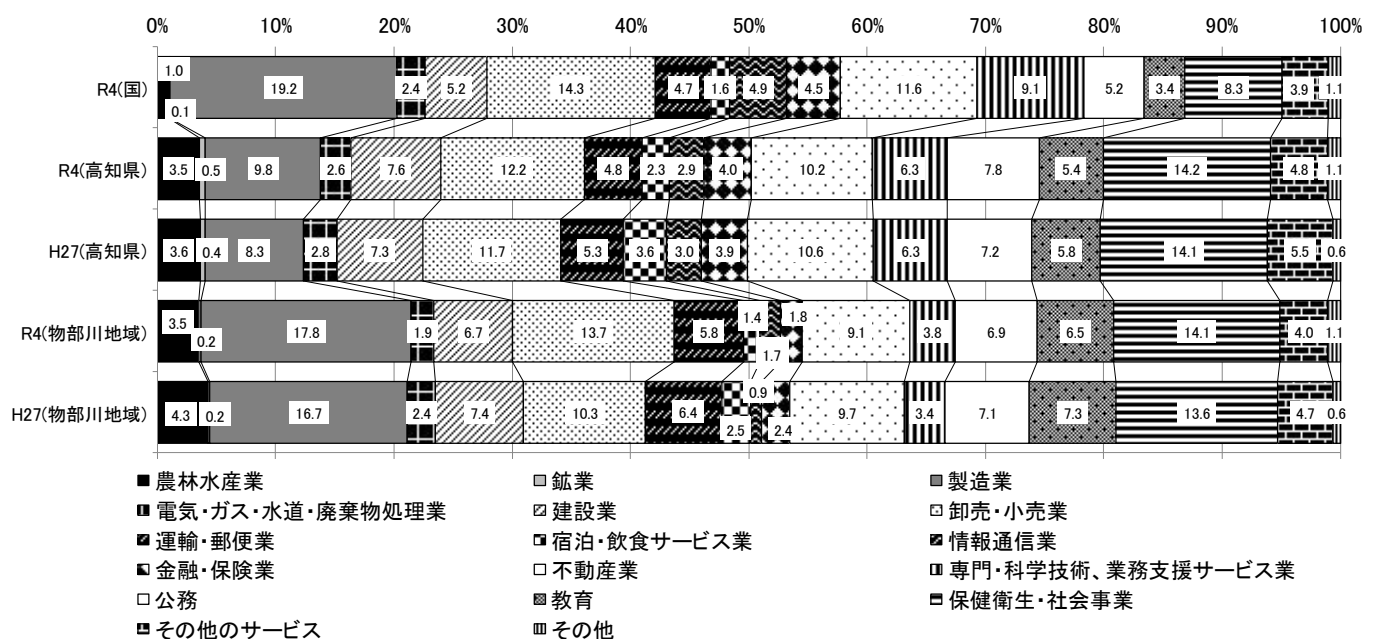
2 物部川地域

(1) 地域の産業を取り巻く状況

物部川流域に位置する当地域は、南国市、香南市及び香美市の3市で構成され、上流域は豊かな森林資源を生かした林業やユズの栽培、下流域は県内有数の穀倉地帯であるとともに施設園芸が盛んです。また、高知龍馬空港や高知自動車道、JR土讃線、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線といった交通インフラが充実していることに加え、高知東部自動車道の延伸により、流通の要所となっています。

令和4年度における産業別構成比は、製造業の割合が17.8%を占めており、7つの地域の中で一番高いことが特色として挙げられるように、工業団地が順次整備されており、工業の集積地にもなっています。その一方、特に中山間地域や沿岸地域の人口減少や高齢化により、全ての産業分野において人材の確保、育成が課題となっています。

県内（国内）総生産（名目）の産業別構成比



産業構造の特徴



高知県を比較対象とした場合	物部川		高知県を比較対象とした場合	物部川	
	H27	R4		H27	R4
特化係数※			特化係数※		
農業	1.65	1.38	宿泊・飲食	0.68	0.61
林業	0.67	0.56	情報通信業	0.30	0.58
水産業	0.15	0.10	金融・保険業	0.61	0.46
鉱業	0.49	0.37	不動産業	0.91	0.89
製造業	2.01	1.81	専門	0.55	0.60
電・ガ・水・廃	0.84	0.75	公務	1.00	0.89
建設業	1.03	0.88	教育	1.27	1.19
卸売・小売業	0.88	1.13	保健衛生	0.97	0.99
運輸・郵便業	1.22	1.20	その他サービス	0.85	0.84

※特化係数：物部川地域の経済活動ごとの構成比を高知県と比較し、高知県から見た相対的な経済活動構成比の大きさを表す指標。

市町村経済統計（高知県）、国民経済計算（内閣府）

農業分野

平野部での水稻をはじめ、日本一の生産量を誇るニラやシシトウのほかピーマン、ナス、メロン、トマト等の施設園芸が盛んなほか、山間部では、ユズや温州ミカン的一大産地が形成されるなど、全国的なシェアを持つ多種多様な野菜や果樹類が生産されています。

令和2年度からは、南国市において国営ほ場整備が開始され、水稻から高収益野菜への転換にも取り組んでいます。

林業分野

豊富な森林資源を生かし、香美森林組合、物部森林組合や民間林業事業体が主体となって、原木の増産に取り組んでいます。また、林業就業者の高齢化による担い手不足対策として、平成27年に香美市に県立林業大学校が開校しており、担い手の確保・育成に寄与しています。

水産業分野

イワシシラスやシイラの漁が盛んですが、漁獲の減少に加え、魚価の低迷や急激な燃料の高騰により厳しい状況に置かれており、漁業者の所得向上に向け、鮮魚出荷に加えて加工分野への展開を進めています。

商工業分野

交通インフラの整備が進む中、工業団地が整備され、産業基盤の充実が図られており、3市の製造品出荷額等は県全体の約3割を占めるなど、県内でも有数の製造業の集積地となっています。また、土佐打刃物やフラフといった本県を代表する伝統産業が受け継がれています。

こうした産業の振興に加えて、3市ともに中心市街地の活性化のため具体的なアクションプランに基づいて、地域の事業者の皆さまが、商工会と連携して商店街など地域の活性化に向けて取り組んでいます。

観光分野

令和7年度は、香美市出身のやなせたかしさんと小松暢さんのご夫婦をモデルにした連続テレビ小説「あんぱん」が放送され、また、それを好機ととらえて観光博覧会「ものべすと」を3市連携のもと取り組んだことにより、県内外から多くの方が物部川地域に訪れました。今後もこの勢いを維持・発展させていくためには、官民が一体となった広域観光の推進に取り組む必要があります。

当地域には、日本三大鍾乳洞の一つである龍河洞をはじめ、のいち動物公園、西島園芸団地、アンパンマンミュージアム、海洋堂スペースファクトリーなんこく、歴史民俗資料館、絵金蔵やアクトランドなど、幅広い層の集客が見込める施設が数多くあります。

こうした資源を生かし、体験型観光メニューの造成や情報発信、観光客の周遊促進に向けて、地域の皆さまや関係者、3市及び物部川DMO協議会が連携し、取り組みを進めています。

（２）地域アクションプランの概要

当地域では、園芸基幹品目の増産・販売拡大など１次産業の振興に加え、地域の産品を活用した商品の製造・販売拡大や観光振興に取り組むことで、地域の活性化を図ります。

農業分野

これまでに培ってきた生産技術や IPM 技術を磨きあげるとともに、IoT を活用した環境制御技術やデータ駆動型農業、スマート農業等によって、生産性の向上と労力軽減に取り組めます。また、担い手確保・育成や新規就農者への支援にも取り組めます。

このほかにも、香南市や香美市のニラを活用したご当地グルメ等による消費拡大や、南国市の還元野菜の外商を推進するとともに、学校給食等への食材供給、直販所での販売拡大など地産地消と地産外商を進めていきます。

商工業分野

伝統産業である土佐打刃物の担い手確保・育成に向け、引き続き「鍛冶屋創生塾」の運営に取り組むとともに、土佐打刃物の PR や販路開拓、販売拡大に取り組めます。また、地域商店街等の店舗が減少する中、商工会等と連携して、チャレンジショップの運営や商店街等でのイベント開催など、商店街や中心市街地の活性化に取り組めます。

このほかにも、地域産品を活用したワインやクラフトビールの製造、販売拡大に引き続き取り組めます。

観光分野

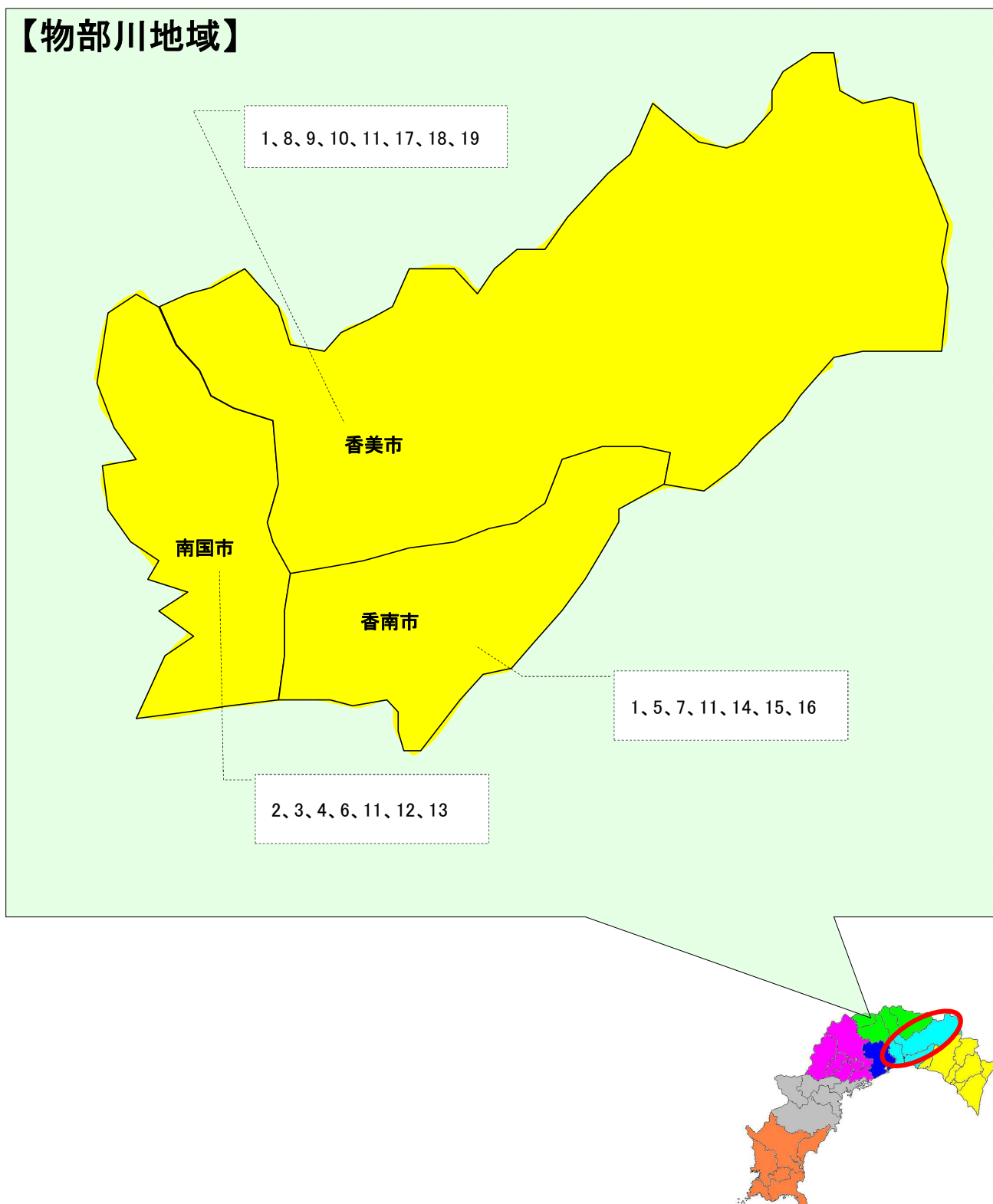
当地域の様々な観光施設への誘客を図るとともに、広域での観光客の周遊を目指し、物部川 DMO 協議会、３市、各観光協会及び観光関連事業者が連携して取り組みを進めていきます。

なお、今期計画では、県内有数の紅葉の名所であるべふ峡周辺の地域活性化を目指していきます。

(3) 具体的な取り組み

分野	No.	項目	南国市	香南市	香美市
農	1	日本一のニラ産地拡大による地域農業の活性化		●	●
	2	南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進	●		
	3	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●		
	4	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●		
商工	5	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進		●	
	6	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●		
	7	香南市中心市街地の振興		●	
	8	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
	9	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
	10	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●
観光	11	物部川地域における広域観光の推進	●	●	●
	12	南国市の地域資源を活用した観光の推進	●		
	13	南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進	●		
	14	香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進		●	
	15	ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進		●	
	16	三宝山エリアにおける観光拠点化の推進		●	
	17	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●
	18	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●
	19	べふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興			●

【物部川地域】



物部川地域アクションプラン

分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.1 日本一のニラ産地拡大による地域農業の活性化 (香南市・香美市)	
実施主体	◎JA 高知県(香美地区)、◎JA 高知県(香美地区ニラ部会)、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、香南市、香美市	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	日本一の生産量を誇る JA 高知県香美地区のニラの生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の 3 つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化をはじめとした流通体制の効率化やニラを材料としたご当地グルメ等による消費拡大につなげるなど産地強化への取り組みを進める。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
生産上の対策	・園芸用ハウスの整備(H28～) ・調製作業機(そぐり機)導入支援(H28～) ・グリーンカレッジ(新規就農者勉強会)の開催(H28～) ・新規就農者育成支援(H28～) ・収量向上に向けた個別指導 ・そぐりセンターの安定稼働支援(R2～)	【成果】 ・農家 15 名が目標収量(6t/10a 以上)達成(R6.7～R7.7(累計)) ・新規就農 16 名(R2.4～R7.12(累計)) ・土佐山田第 2 集出荷場改築、包装機 2 機増設により出荷調製作業の効率化 ・集荷システムや新規利用者開拓等によるそぐりセンター利用量の拡大 175,338kg(R6.8～R7.7) 【課題】 ・生産者の更なる反収増加による経営の安定 ・既存農家の生産規模拡大 ・新規就農者の確保 ・新規就農者等の生産技術の向上による経営の安定 ・そぐりセンターの活用による生産者段階の出荷調製作業の省力化
流通、販売上の対策	・「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳(H28～) ・集出荷場 GAP 点検実施(H28～) ・集出荷場再編計画策定(R2～3) ・土佐山田第 2 集出荷場整備(R4) ・イベントでのニラメニューの提供(H30～) ・地域情報紙にニラメニュー及び提供店舗情報の掲載(R 元～) ・ニラを使ったレシビカード 15,000 部配布等による認知度向上(R2～)	
消費拡大、認知度向上の対策		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
ニラ販売額※ (JA 入金額)	27.4 億円 (R5)	31.5 億円	34.6 億円		34.4 億円

※園芸年度：8 月～7 月

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
生産上の対策 ■JA 高知県(香美地区ニラ部会) ・環境制御技術の導入拡大や基本的栽培管理技術の徹底等による収量・品質の向上 ・園芸用ハウス整備事業等を活用した規模拡大 ・そぐり機の活用等による省力化 ・新規就農者受入れ体制の整備・強化と就農支援 □県(中央東農振興センター等) ・省力化技術の普及啓発、増収・品質向上技術の検討と導入支援 ・データ駆動型農業の実践による増収・品質向上への支援 ・農地の流動化やハウス整備への支援 ・新規就農者の確保・研修・経営開始への支援と体制強化 ・部会活動活性化への助言等 そぐりセンターの効率的・安定的な稼働 ■JA 高知県(香美地区) ・そぐりセンターの運営 □県(中央東農振興センター等) ・そぐりセンターへの支援					生産拡大対策
流通、販売上の対策 ■JA 高知県(香美地区) ・集出荷場の効率的稼働・運営 □県(中央東農振興センター等) ・集出荷場への支援					そぐりセンターの効率的・安定的な稼働
消費拡大、認知度向上の対策 ■(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会 ・地元飲食店と協力したニラメニューの販売拡大や地域イベント開催 ・SNS 等を活用した情報発信 ■香南市、香美市、□県(地域本部等) ・新たな需要拡大のための支援策の情報提供					集出荷場の効率的・安定的な稼働
					ニラの消費拡大・認知度向上の取り組み

【用語】 ・そぐりセンター：ニラの収穫後、出荷のために実施する、そぐり(不要な外葉の除去)や計量、結束の調整作業を生産者から受託する施設

物部川地域アクションプラン

分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.2 南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進 (南国市)	
実施主体	◎JA 高知県(土長地区)、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、◎南国市、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)はぐみ農園	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	南国市産の主要農作物(シシトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜(還元野菜)の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善などに取り組み、生産・流通・販売の課題を解決し、地産地消・地産外商を推進することで、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
シシトウの生産拡大	・四国電力(株)の農業参入 ・農業参入協定締結及び Aitosa(株)設立(R2) Aitosa(株)1 号棟ハウス整備(R3) Aitosa(株)への技術支援(R3～) Aitosa(株)2 号棟ハウス整備(R5～6) ・新規就農者の経営安定に向けた支援(R2～) ・調製作業省力化設備の設置に向けた協議(R2～3) ・調製作業省力化設備の運営(R3～4) ・出荷量が安定しない等により運営休止	【成果】 ・シシトウ: Aitosa(株)収量目標達成(12.2t/10a R7 園芸年度) シシトウ新規就農者に対する栽培指導により経営の安定化につながった。 収量目標達成 4 戸/5 戸 ・ニラ:生産量が目標達成 ・ピーマン類: (株)イチネン農園収量目標達成(23.1t/10a R7 園芸年度) R 元から生産量は増加している。 ・還元野菜: 安定的な販売実績
ニラの生産拡大		
ピーマン類の生産拡大	・(株)イチネン農園の参入 ・農業参入協定締結(R4) (株)イチネン農園ハウス整備(R4) (株)イチネン農園への技術支援(R4～) ・(株)はぐみ農園の参入 (株)はぐみ農園ハウス整備(R6) ・モニ、イチゴ等の生産支援 ・栽培管理へ支援 ・パプリカ、メロン等の還元野菜のインターネット通販 ・販路拡大に向けた売り込み ・市内小学校へ給食用食材として地元野菜の供給を続けることで地産地消の啓発を続ける。 ・農家レストラン「まほろば畑」による地元野菜の広報実施 ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアー受入れに向けた検討	【課題】 ・生産の維持・拡大に向けた施設整備、経営安定化 ・地産外商及び地産地消の取り組みの継続
「還元野菜」の販売拡大		
「南国野菜」の地産地消の推進		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)シシトウ生産量※	492t (R5)	439.5t	461.9t		R9 548t
(2)ニラ生産量※	793t (R5)	762.4t	770.8t		880t
(3)ピーマン類生産量※	1,039t (R5)	1,059.2t	1,084.4t		1,220t
(4)「還元野菜」の売上高	917 万円 (R4)	1,371 万円			1,100 万円
(5)学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)	28.38% (R4)	26.91%			27.0%

※園芸年度：9月～8月

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
シシトウの生産拡大 ■ JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、新規就農者育成の支援 ■ Aitosa(株) ・新たなハウスの整備による生産拡大 □ 南国市、県(中央東農業振興センター等) ・生産拡大、担い手育成等及び Aitosa(株)のハウス整備に対する支援					
ニラの生産拡大 ■ JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成 □ 南国市、県(中央東農業振興センター等) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成支援					
ピーマン類の生産拡大 ■ JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成 ■ (株)はぐみ農園 ・ハウス整備による生産拡大 ■ (株)イチネン農園 ・ハウス整備による生産拡大 □ 南国市、県(中央東農業振興センター等) ・生産拡大、担い手育成等及び(株)はぐみ農園のハウス整備に対する支援					
「還元野菜」の販売拡大 ■ (株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)南国スタイル等 ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大 □ 県(中央東農業振興センター、地域本部等) ・栽培技術や販売促進支援					
「南国野菜」の地産地消・地産外商の推進 ■ 南国市、(株)南国スタイル ・市内小学校の給食用食材として南国野菜を利用 ■ 民間事業者 ・南国野菜を活用した商品の開発・製造・販売 ・農家レストラン「まほろば畑」等での料理提供や南国野菜の PR ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアーの実施 □ 県(観光振興スポーツ部、地域本部) ・関係者への情報提供、PR 実施					

物部川地域アクションプラン

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.3 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)		
実施主体	◎(株)なの工房、◎畑の食堂 Copan、JA 高知県 (土長地区長岡支所)		
AP への位置づけ	H24.4 月		
事業概要	旧直販所「あげぼの市」を国道 195 号通称「あげぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」、平成 30 年にオープンした「畑の食堂 Copan」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	主な成果・課題
組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み	・国道 195 号沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン(H25～26) →産振補助金の活用(H25) 【(株)なの工房】 ・雇用数の整理及び直販所事業に専念するためカフェ事業の廃止(「なのカフェ」の閉店 (H29.1月)) ・経営改善に向けた産振アドバイザーの導入 (H29～30) ・POP、店舗陳列の磨き上げ →直販所アドバイザーの導入 2 回 (R 2～3) 【畑の食堂 Copan】 ・「畑の食堂 Copan」オープン (H30) ・6 次産業化セミナー参加による商品開発 (R2) ・オンラインショップの開設 (R2) ・POP の掲示による PR 強化 (R 2～)	【成果】 ・畑のディップソース取扱店舗：4 事業者 (R8.1) 【課題】 【(株)なの工房】 ・出荷品目の充実 ・経営の安定化 【畑の食堂 Copan】 ・来客数の増（13 時以降のランチ客増） ・新メニュー、ディックアウト商品の開発 ・加工品の販路開拓
来客増に向けた取り組み	【(株)なの工房】 ・地元果物を使った新商品の販売開始 (H28) 【畑の食堂 Copan】 ・各種イベントへの出店 (H30～) ・ディックアウトコーナーの新設 (R 元) ・新商品（ディップソース、ミールセット）の販売開始 (R2～) ・「にっぽんの宝物 Japan 大会 2020-2021 調理・乳製品部門 グランプリ受賞：畑のディップソース (R2) ・スチームコンベクション、充填機導入 (R3) →事業再構築補助金の活用 ・キッチントレーラー導入 (R3) →事業再構築補助金の活用	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
直販所等の売上高	9,707 万円 (R4)	1 億 165 万円			1 億 1,100 万円

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み					経営の安定化
■(株)なの工房					
・財務分析による経費削減（日別の目標売上額を設定し、継続的な管理を実施）					
・魅力ある店舗づくり					
・新規顧客獲得の取り組み、客単価を上げる取り組み					
□県（地域本部等）					
・関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介					
来客増に向けた取り組み					新規出荷者の確保
■(株)なの工房					
・生産者会議での呼びかけ、店舗へのチラシの掲示、生産者への売上データの送付、呼びかけ					
■JA 高知県（土長地区長岡支所）					
・生産者への呼びかけ					
□県（地域本部等）					出荷品目の充実
・関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介、産振アドバイザー制度の活用					
■畑の食堂 Copan					
・季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発（新規及びリピート客の確保）					
・SNSを活用した情報発信					新商品・新メニューの開発
・市内外のイベントへの積極的な出店					
・キッチンテラーを活用した新規顧客の獲得					
□県（地域本部等）					集客に向けたプロモーションの実施
・関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介					

物部川地域アクションプラン		
分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.4 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市)	
実施主体	◎企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市	
AP への位置づけ	H23.4 月	
事業概要	イベント販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行うとともに、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ること、ブランド鶏肉としての外商戦略を展開していく。 これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモの認知度を向上させ、南国市を訪れてもらう『地産「来」消』の仕組みの確立を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立	・直営鶏舎の整備、飼育（H24～） ・貯卵・孵卵設備を高知農業高校に整備（H26.1 月） →産振補助金の活用 ・食鳥加工センターの整備（H29）→ものづくり補助金の活用 ・県版 HACCP 第 2 ステージの認証取得（H31.4 月） ・食鳥処理の外注（R2～） ・鳥獣被害対策等の実施（R3～） ・ごめんシャモ鍋社中（市内提供店舗）による PR 活動（H22～） ・加工品（シャモ鍋セット）の開発（H23） →産振補助金の活用 ・直営のシャモ料理専門店「軍鶏伝」の運営（H27～）	【成果】 ・ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内）R7:19 店舗 ・貯卵から販売までの過程を一括管理出来る体制の構築 【課題】 ・シャモ肉の安定供給のための生産体制の強化 ・組織の強化
加工品開発及びご当地グルメとしての確立		
組織の強化	・定例会の開催（毎月） ・経営改善計画の策定（R5.9 月）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)売上高	3,492 万円 (R4)	5,180 万円		R8	R9 5,811 万円
(2)飼育羽数	930 羽 (R4)	1,578 羽			1,442 羽

第 5 期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 □県（農業振興部・地域本部等） ・飼育に関する指導・情報提供、衛生管理支援 ・各種支援制度に関する情報提供					生産体制の強化
ご当地グルメとしての確立 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・イベントを通じた PR 活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 ・「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志（加盟店）の増加に向けた活動 ・商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売やふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ■南国市 ・ふるさと納税返礼品による商品の PR、イベント等の紹介 □県（地域本部等） ・イベントの紹介、関係者への橋渡し 加工品開発 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・新たな加工品の開発 ・生産量・品質の維持管理及び衛生管理の向上、高付加価値化 □県（地域本部等） ・セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し					ご当地グルメとしての確立 販路開拓・販売促進 加工品開発
組織の強化 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・組織の方向性の明確化、資金管理による経営強化 ・部門別（営業、経理、加工等）の人材育成 ■南国市商工会等 ・経営強化へのアドバイス、経営計画進捗管理支援					経営力の向上

物部川地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.5 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進 (香南市)	
実施主体	◎井上ワイナリー(株)、香南市	
AP への位置づけ	H30.9月	
事業概要	県内各地の遊休農地等でのブドウ栽培を進め、ワインの生産拡大を図るとともに、県内食材とのコラボレーションやPR活動により、高知県産ワインとしてのブランド力を高めることで、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
栽培面積の拡大	・井上石灰工業(株)の新事業としてワイン用ブドウの栽培を開始(H25) ・ワイン造りの専門家をコンサルタントに迎え、県内での栽培技術を習得し、県内での栽培を開始(H25) ・県内市町村や集落活動センター等との連携による園場の確保(R元～)	【成果】 ・園場の拡大 H25：2市20アール→ R7：6市町212アール ・ブドウ生産量 H27：870kg→ R6：19,311kg ・会員数 R6：502名 ・ブランド力の向上 国内外のコンクールで各賞受賞
醸造・生産体制の強化	・ワインの製造、販売を目的に井上ワイナリー(株)を設立(H28) ・先進地視察研修及び広報活動(H30) →産振補助金の活用 ・ワイン醸造施設の建設(R2) →産振補助金の活用 ・自社醸造を開始し、ヌーボーを販売(R3) ・ショッパカエを併設する「のいち醸造所」グランドオープン(R4)	【課題】 ・生産量増加に向けた園場の拡大 ・新商品ワインの開発 ・品質向上に向けた醸造技術の改良 ・ブランド力の向上 ・他の事業者と連携したグロサリー商品の開発
ブランドカカの向上	・個人会員制を採用し、高知県産ワインファンへの直接販売 会員数：596名(R4) ・ECサイト、小売店等での販売(R3～)	
他の事業者との連携	・龍河洞での熟成保管の実施(R元～) ・グロサリー商品の開発(R元～)、販売(R3～)	
【用語】 ・グロサリー：中食主体の食料品・生活雑貨などを総称する言葉。生鮮食品は含まれない。		

物部川地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.5 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進 (香南市)	
実施主体	◎井上ワイナリー(株)、香南市	
AP への位置づけ	H30.9月	
事業概要	県内各地の遊休農地等でのブドウ栽培を進め、ワインの生産拡大を図るとともに、県内食材とのコラボレーションやPR活動により、高知県産ワインとしてのブランド力を高めることで、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
商品売上高	7,120万円 (R4)	6,524万円			9,400万円

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
栽培面積の拡大 ■井上ワイナリー(株) ・県内市町村や集落活動センターと連携した園場の拡大、自社園場の拡大 □県(地域本部、農業振興センター) ・集落活動センターや関係機関との橋渡し、各種支援制度に関する情報栽培に関する支援					園場面積の拡大
醸造・生産体制の強化 ■井上ワイナリー(株) ・新商品ワインの開発 ・品質向上に向けた醸造技術の改良 ・設備の増強 ■香南市 ・各種支援制度に関する情報提供 □県(地域本部、工業技術センター) ・各種支援制度に関する情報提供 ・醸造技術に関する支援					新商品の開発
					品質向上に向けた醸造技術の改良
					設備の増強
ブランドカカの向上 ■井上ワイナリー(株) ・広告等によるPR、自主イベントの企画・実施、PRイベントへの参加 ・新酒発表会の開催 ・品評会への出席 ■香南市 □県(地域本部) ・各種支援制度に関する情報提供					PRの実施
他の事業者との連携 ■井上ワイナリー(株) ・地元食材を取り扱う事業者と連携した、グロサリー商品の開発及び販売 ・三宝山エリア(4施設)での取り組み強化 ■香南市 □県(地域本部) ・各種支援制度に関する情報提供					グロサリー商品の開発と販路の拡大

物部川地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.6 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)	
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、南国市中心市街地振興協議会	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
中心市街地の賑わい創出	・「ごめんまち将来像プラン」の策定（H27） ・中心市街地振興計画の策定（R2）	【成果】 ・チャレンジジョブオープン（R3.6～R7.3） ⇒チャレンジヤー累計5名 ・拠点施設の整備 R元.8月着工 ⇒ R2.12月竣工 ⇒ R3.3.21 グランドオープン 【課題】 ・日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ・ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進
各種イベントの開催や空き店舗の活用等	・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結（H28） ・(株)海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナンコクフェスティバル」等のイベントの開催（H28～） ・ものづくりイベント「ごめんtete マルシェ」の開催（R元～） ・「ソフビ・アートフェスティバル in NANKOKU」の開催（R3） ・「ごめんtete マルシェ」と「ごめんの軽トラ市」の同時開催（R4.10～）	
拠点施設の運営等	・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定（H30） ・ものづくりサポートセンターの整備（R元～2） →地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金の活用 ・空き店舗調査（R2～）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)エリア内の売上高	10億9,061万円（R4）	14億8,061万円			13億9,031万円
(2)新規出店数	5件（R2～4累計）	5件			8件（R6～9累計）
(3)拠点施設の入込数	68,860人（R4）	68,806人			70,000人

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
中心市街地の賑わい創出		第2期中心市街地振興計画の実行		第3期中心市街地振興計画の実行	
■南国市、南国市商工会		次期計画の策定			
・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行					
・第3期中心市街地振興計画の策定					
■南国市					
・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理					
□県（地域本部等）					
・計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し					
各種イベントの開催や空き店舗の活用等					
■(株)海洋堂高知					
・施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画、実施					
■南国市、南国市商工会、地域事業者					
・(株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施					
・軽トラ市、ごめんtete マルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり					
■南国市					
・地域おこし協力隊による取り組み支援					
・空き店舗活用への支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金)					
□県（商工労働部、地域本部等）					
・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援					
・各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し					
拠点施設の運営等					
■(株)海洋堂高知					
・フィギュアの生産、販売					
・集客につながるイベントの実施					
■南国市					
・拠点施設と連携した各種イベントの開催					
・やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催					
・デジタル観光ガイドを活用した周遊企画					
・南国市地域経済活性化計画の進捗管理					
□県（地域本部等）					
・施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し					

物部川地域アクションプラン

分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.7 香南市中心市街地の振興 (香南市)	
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会、◎地域事業者	
AP への位置づけ	R2.4 月	
事業概要	香南市の中心市街地において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心市街地を核とした地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
空き店舗対策	・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設（H28） ・空き店舗実態調査（野市町）の完了（R3）	【成果】 ・空き店舗等を活用した新規開業数 R6：1 件 ・「スイーツスタンプラリー」への参加者数 R5：69 件、R6：137 件 ・「香南かるたでゲット」への参加者数 R5：延べ 323 名
中心市街地を核とした地域の活性化の推進	・香南市中心市街地活性化計画の策定（R4） ・中心市街地活性化計画アクションプランの推進 ①「スイーツスタンプラリー」の実施（R5～R6） 参加事業者：4 事業者（計画エリア内の洋菓子店） ②フジグラン野市と連携した「香南かるたでゲット」の開催（R5） 参加事業者：出店ブース 5 事業者、紹介ブース 16 事業者 ③「マルシェこうなん」の開催（R6） 参加事業者：出店ブース 5 事業者	・「マルシェこうなん」 R6：約 100 名に販売 【課題】 ・空き店舗補助金活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と発信（市内外への PR） ・中心市街地活性化計画アクションプラン推進にかか る運営体制の確立

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)空き店舗等を活用した中心市街地活性化計画エリア内の新規開業数	1 件 (R2～4 累計)	1 件			8 件 (R6～9 累計)
(2)中心市街地活性化計画エリア内の店舗数	298 店 (R5)	292 店	291 店		298 店

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
空き店舗解消に向けた取り組みの推進		空き店舗解消に向けた取り組みの推進			
■ 香南市					
・空き店舗等対策事業費補助金による支援					
・空き店舗情報や事業承継支援に関する情報発信					
・事業承継支援制度の創設（中山間地域）					
■ 香南市商工会					
・市、県との連携及び情報共有					
・空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援					
・空き店舗情報等の積極的な情報発信					
□ 県					
・支援制度についての情報提供、伴走支援					
中心市街地活性化計画の推進		中心市街地活性化計画アクションプランの推進			
■ 香南市					
・地域事業者と連携した中心市街地活性化計画アクションプランの推進					
・中心市街地活性化計画推進事業費補助金による支援					
■ 香南市商工会、地域事業者		次期計画の策定			
・中心市街地活性化計画アクションプランの推進					
□ 県					
・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援		第 2 期中心市街地活性化計画アクションプランの推進			
・関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援					

物部川地域アクションプラン

分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.8 香美市の伝統産業（土佐打刃物、フラフ）の振興 (香美市)	
実施主体	◎ 高知県土佐刃物連合協同組合、◎ フラフ製造業者、香美市商工会、(一社)香美市観光協会、香美市	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	国指定伝統的工芸品である土佐打刃物及び高知県伝統的特産品であるフラフの後継者育成及び販路拡大を図るため、鍛冶屋創生塾による人材育成とともに、観光事業との連携やイベント開催、ネット販売などに取り組む。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
人材育成	・「鍛冶屋創生塾」の整備(H30～R 元) →産振補助金の活用 ・鍛冶屋創生塾を運営し後継者を育成 (R 元～) →伝統的工芸品産業支援補助金 (国) 及び伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業補助金の活用 ・鍛冶屋創生塾運営委員会を開催し、塾生の研修の進捗状況を共有 (R2～・年 4 回) ・鍛冶屋創生塾オープンキャンパスの開催(R6)	【成果】 ・鍛冶屋創生塾 〈第 1・2 期生〉 入塾 6 名 卒業 6 名 ※うち新規就業 6 名 〈第 3 期生〉 入塾(R5) 3 名 卒業(R7) 3 名 ※うち新規就業 2 名 講師補助 1 名 〈第 4 期生〉 入塾(R7) 3 名
伝統的工芸品等の普及及び販売促進	・香美市ものづくり会議における土佐打刃物、フラフの普及に関する協議 (H29～) ・ふるさと納税返礼品への登録(刃物・フラフ)及び香美市観光協会ネットショップでの販売(刃物) (H24～) ・市役所庁舎をはじめ市内各所へのフラフの掲揚 (H29～) ・観光客や小学生を対象とした工場見学、フラフ染め体験の受入れ (R 元～) ・「フラフのある風景フォトコンテスト」の開催 (R 元～) ・産業振興センターへのフラフの常設展示 (R2～) ・フラフエコバックを作製 (R2)、市内量販店で販売 (R3～) ・フラフリープレットの作成、配布 (R3)	【課題】 ・継続した入塾者の確保 ・卒業後の就業先の確保 ・伝統工芸品等の認知度向上
【用語】・土佐打刃物：400 年余前から高知県で作られてきた職人の手で刃を成形する「自由鍛造」を特徴とする刃物。 刀剣を作る技術を製造方法に取り入れており、切れ味、耐久性に優れている。 ・フラフ：「旗」を意味するオランダ語・英語が語源と言われ、大漁旗をイメージしてできたもの。男児の健やかな成長を願って、端午の節句に鯉のぼりと並んで立てられる。男児誕生の祝いとして親戚から家紋や名前を入れたフラフを贈るのが慣わしである。		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1) 創生塾入塾者数 (R2～5 累計)	9 名 (R2～5 累計)	9 名 (R2～6 累計)	12 名 (R2～7 累計)	R8	R9 15 名 (R2～9 累計)
(2) 新規就業者数	5 名 (R2～5 累計)	5 名 (R2～6 累計)	8 名 (R2～7 累計)		9 名 (R2～9 累計)

第 5 期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
鍛冶屋創生塾における人材育成 ■ 高知県土佐刃物連合協同組合 ・継続的な入塾者確保・育成及び業界への人材供給 ■ 香美市、□県（商工労働部、地域本部） ・鍛冶屋創生塾運営補助金による支援、HP 等による入塾者募集支援、関係機関との連携支援 鍛冶屋創生塾卒業生への就業及び研鑽の場の確保 ■ 高知県土佐刃物連合協同組合 ・卒業生の研鑽の場の確保や開業に向けた支援 ■ 香美市 ・伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金による就業支援					人材育成
土佐打刃物・フラフの普及促進 ■ 高知県土佐刃物連合協同組合、フラフ製造業者 ・視察受入れや教育機関・観光事業者と連携した体験及び見学による伝統産業の普及 ・香美市ものづくり会議で、伝統的工芸品等の普及促進策を検討実施 ■ 香美市商工会、(一社)香美市観光協会、香美市、□県（地域本部） ・香美市ものづくり会議で、伝統的工芸品等の普及促進策を検討実施 土佐打刃物・フラフの新たな販路開拓 ■ 土佐打刃物事業者、フラフ製造業者 ・新商品の開発 ・展示会やイベント等への出店 ・SNS 等を活用した広報の強化 ■ 香美市、香美市商工会、□県（商工労働部、地域本部） ・展示会やイベント等の情報提供					普及促進策の検討・実施 新商品の開発 イベント等への出展

物部川地域アクションプラン

分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.9 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)	
実施主体	◎えびす街協同組合、香美市商工会、香美市	
AP への位置づけ	H26. 9月	
事業概要	香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「T.Garden Nakamachi 98」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
商店街を含む地域の活性化策の推進	・ふらっと中町（R7.12～T.Garden Nakamachi 98）及び商店街等の振興 香美市中心商店街活性化計画の策定（策定：R2、改訂：R6） 香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 商店街、ふらっと中町（R7.12～T.Garden Nakamachi 98）の集客に向けた各種イベントの開催 香美市中心商店街活性化協議会の開催（R2～） 施設の建替を行い、「T.Garden Nakamachi 98」としてリニューアル（R7.12）	【成果】 ・空き店舗を活用した新規開業数 15 件（R2～7.12 累計） ・「えびす昭和横丁」の開催 3 回実施（R4～6） ・「ふらっと中町」マルシェの開催 5 回実施（R4～5） ・「ふらっと中町」年間集客数 R6:5,013 人 (R 元:3,649 人) ・チャレンジショップ出店 13 件（R2～6 累計） 内商店街エリアでの開業 3 件
	・空き店舗及びチャレンジショップ(R7.12～ T.Garden Nakamachi 98 内)を活用した開業支援 ふらっと中町（R7.12～T.Garden Nakamachi 98）職員による商店街内の空き店舗の実態調査の実施（H27～） チャレンジショップ運営委員会の開催（H28～毎月）	【課題】 ・商店街の空き店舗の活用促進及びチャレンジショップ卒業生の域内への出店を目指した利用可能な空き店舗の確保 ・T.Garden Nakamachi 98、チャレンジショップへの誘客

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1) 新規開業数	－	3 件			8 件 (R6～9 累計)
(2) 店舗数	118 店 (R5)	119 店			118 店

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
空き店舗を活用した新規開業支援					
■ 香美市					新規開業支援
・ふらっと中町（R7.12～T.Garden Nakamachi 98）職員による空き店舗調査の実施					
・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応					
・空き店舗等利活用助成金による支援					
■ 香美市商工会					
・空き店舗の情報収集					
・開業時のアドバイスの実施					
「ふらっと中町」（R7.12～T.Garden Nakamachi 98）チャレンジショップの運営					チャレンジショップ運営支援
■ えびす街協同組合					
・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援					
・集客力のあるイベント開催による PR					
・SNS 等による情報発信					
■ 香美市商工会					
・チャレンジショップへの運営補助による支援					
・運営に関するアドバイス					
■ 香美市、口県（商工労働部、地域本部等）					
・チャレンジショップ運営委員会への出席					
・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援					
中心商店街活性化計画の推進					
■ 香美市、香美市商工会					
・地域事業者と連携した香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進					
■ 地域事業者					
・市や商工会と連携した香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進					
□ 口県（商工労働部、地域本部等）					
・関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援					

物部川地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.10 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市)	
実施主体	◎(同)高知カンパニーニュブルフリー、香美市商工会、香美市	
AP への位置づけ	H30.9 月	
事業概要	高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社 TAP STAND への誘客促進を図る。更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
生産体制の強化	・新商品開発に係る情報発信、機械設備の導入等 (H30) → 産振補助金の活用 ・生産体制及び機械設備の導入に関する助言 (H30) → 産振アドバイザー制度の活用 ・生産拡大及び品質管理に係る機械設備の導入 (R 元) → 小規模事業者持続化補助金の活用 ・TAP STAND を併設した本格ビール工場の整備 (R3～4) → 事業再構築補助金の活用 (R5.4.15 オープン) ・機械設備の導入 (R3～4) → ものづくり補助金の活用 ・TAP STAND 及び TOSACO GARDEN の整備 (R4) → クラウドファンディング (CAMPFIRE) の活用 ・機械設備の導入 (R5) → 小規模事業者持続化補助金の活用 ・TOSACO GARDEN の屋外設備の設置 (R5) → 香美市特産品事業費補助金の活用	【成果】 ・雇用の創出 - H30：1 人 → R7.3 月時点：23 人 ・新商品の開発 - H30～R5：20 件 ・品評会等への出展 - H30～R6：8 回 ・香美市内の飲食店・量販店での販売 - R7：8 店舗 【課題】 ・生産拡大に向けての機械設備の導入 ・販路拡大 ・TAP STAND 及び TOSACO GARDEN への誘客
認知度向上・販路拡大	・アンテナショップ「まると高知」での販売 (H30～) ・香美市ふるさと納税返礼品に登録 (H30～) ・PR 動画の作成 (R2) → 伴走型小規模事業者支援推進事業の活用 ・季節限定商品、地域限定商品の開発 (H30～) ・フェアやイベントへの出店 (H30～) ・香美市内の飲食店等での販売 (H30～) ・香美市内の量販店での販売 (H30～) ・地元イベントへの参加等 (H30～)	
【用語】・クラフトビール：一回の仕込み量が少量で、地域の特産品を原料にして作る個性あふれるビール		

物部川地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.10 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市)	
実施主体	◎(同)高知カンパニーニュブルフリー、香美市商工会、香美市	
AP への位置づけ	H30.9 月	
事業概要	高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社 TAP STAND への誘客促進を図る。更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
クラフトビールの売上高	4,207 万円 (R4)	1 億 103 万円			9,000 万円

第 5 期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
生産拡大に向けた機械設備の導入 ■(同)高知カンパニーニュブルフリー ・機械設備の導入 ■香美市商工会 ・設備導入に関する助言 導入等の検討 設備導入 雇用の創出・人材育成					
雇用の創出 ■(同)高知カンパニーニュブルフリー ・ハローワーク等を活用した労働力の確保・育成 雇用の創出・人材育成					
認知度向上・販路拡大 ■(同)高知カンパニーニュブルフリー ・商品コンセプトの合致したイベント、商談会等への積極的な出展 ・地元イベント (香美バル、刃物まつり等) への出店 ・自社イベントの実施 ■香美市商工会 ・イベント、販路開拓に向けた情報提供 イベント、商談会への出展 自社イベントの実施					
新商品の開発・販売 ■(同)高知カンパニーニュブルフリー ・県産食材を活用した地域限定商品等の開発 新商品の開発・販売					

物部川地域アクションプラン		
分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.11 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)	
実施主体	◎(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者	
AP への位置づけ	H24.4月	
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	・「物部川 DMO 協議会」が発足 (H28) ・物部川 DMO 協議会の一般社団法人化 (H31.3) →第 3 種旅行業登録 (R 元) ・滞在型観光プラン整備計画の策定 (R2) ・観光地域づくり推進員の配置 (R3～) ・中期計画の策定 (R3)、更新 (R8.3) ・登録 DMO への登録 (R4.3)、更新 (R7.3)	【成果】 ・国内外からの団体ツアーの受入数： (R6) 67 件 (R7) 322 件 ・ユニバーサルツールの推進： 四国運輸局の優良事業者表彰を受賞(R6) 【課題】 ・観光博覧会「ものべす」とのレガシーを生かした広域観光振興計画の策定と実行 ・インバウンド需要を取り込むための受入環境整備や誘客施策の強化
観光商品の充実・観光客の広域誘致	・協議会公式 HP 及び SNS の構築 (H28)、HPリニューアル (R4) ・公式パンフレットの作成 (H29)、リニューアル (R5) ・顧客ニーズに沿った商品の企画造成・販売実施 (H30～) ・商談会等で旅行会社へセールス ・誘客多角化事業の採択によるバリアフリー観光の推進 (R2) ・バリアフリー観光の推進 (R4) →地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の活用 ・ワーケーション推進事業の採択 (R4) ・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業の採択 (R5) ・JR 観光列車おもてなし (R3～) ・観光客動態調査の実施	
地域連携による周遊促進	・連携企画イベント「ものべがわフェスタ」の開催 (H28～R5) ・ものべ SSS 認証制度の制定 (R2～) ・「ものべおしごと体験博」の開催 (R4～) ・ものべ旅クーポンの実施 (R5) ・観光博覧会「ものべす」の開催 (R7.3.29～R8.2.8)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
主要観光施設入込数 (8施設) ※	73.7 万人 (R4)	78.9 万人	88.9 万人		89.5 万人

※ 1 月～12 月

※ 主要観光施設：

西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂スペースファクトリーなんこく）、県立のいち動物公園、絵金蔵、創造広場「アクトランド」、香美市立やなせたかし記念館、龍河洞

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化					
■物部川 DMO 協議会		委員 会設 立・ 運営	観光 博覧会 の開催		観光博覧会後の 連携した取り組み
・エリア内関係者と一体となった博覧会事業の実施					
・物部川広域観光振興計画（R8～12）の策定・実行					
・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略の策定					
□県			計画策定		計画の実行
・アドバイザー派遣等による支援					
観光商品の充実・観光客の広域誘致					
■物部川 DMO 協議会					県キャンペーンと連動した観光商品の 造成・販売
・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ					
・セールの実施、商談会への出展					
・パンフレット、SNS 等を活用したエリアの情報発信					
・ユニバーサルツールの推進					
・教育旅行の誘致、大阪万博に向けたインバウンド誘客、大阪アンテナショップ 開業による誘客					
□県					デジタルデータ等を活用した 分析・施策の実践
・どぶり高知旅キャンペーンを通じた商品造成の支援					
・観光客動向データの活用支援					
地域連携による周遊促進					
■物部川 DMO 協議会					地域連携企画の実施
・観光博覧会「ものべす」の開催によるエリア内への誘客促進や周遊企画の 実施					
・「ものべおしごと体験博」等の地域連携企画の実施					
□県			観光 博覧会 の準備	観光 博覧会 の開催	誘客・周遊施策等 の継続
・補助金やアドバイザー派遣等による支援					

物部川地域アクションプラン		
分野	観光	
AP 名 (実施地域)	No.12 南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市)	
実施主体	◎(一社)南国市観光協会、南国市、南国市観光クラスター連絡協議会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪など市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進に繋げる。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光の推進	・長宗我部フェスの開催 (H22～) ・ボランティアガイドの養成 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 ・移動販売車(キッチンカー)の導入による南国市観光のPR (H29) ・女性をメインターゲットにした周遊マップの作成 (H29) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 ・観光施設連絡会の設立 (R2) ・観光ガイドの養成 (R3) →地域の頑張る人づくり補助金の活用 ・なんごく旅たびクーポン・ポンによる誘客促進 (R3) ・土佐の観光創成塾の受講 ・オンラインによる体験プランの販売開始 (R3～) ・四万十町連動周遊企画 (R3～) ・なんごく乗りのりチャトル運行事業 (R3～4) ・ガイド養成講座の実施 (R6)	【成果】 ・主要観光施設入込数のうち、歴史文化施設（県立歴史民俗資料館）入館者数 H30：2.5万人 →R6：1.6万人（R5.9.19～R6.3.28まで改修工事のため休館） 【課題】 ・観光資源及び長宗我部元親ラリー、長宗我部フェスなどの既存の取り組み（イベント）の魅力向上 ・観光協会の体制強化
観光協会の体制強化	・南国市観光協会に専任スタッフを配置 (H24～) ・臨時観光案内所専任スタッフの配置 (R6.9～R8.2) ・拠点施設の整備や受入対策等、観光博覧会開催に向けた準備を実施 (R6)	
観光博覧会の開催	・連続テレビ小説ドラマ展「のぶと高のあらんく展」の開催(R7) ・臨時観光案内所の運営(R7.3～R8.2) ・デジタル観光ガイドシステム(音声ガイドアプリ)の運用(R7)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
主要観光施設入込数 (4施設) ※	48.4万人 (R4)	51.8万人	54.9万人		55.0万人

※1月～12月

※主要観光施設：

西島園芸団地、道の駅南国風良里、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂スペースファクトリーなんごく）

第5期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
観光メニューづくり、ブラッシュアップ ■(一社)南国市観光協会、南国市、市内各観光に関わる企業・団体等 ・既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 ・ごめん町定時ガイドの実施 □県（地域本部等） ・関係機関等への橋渡し					観光メニューづくり 観光メニューのブラッシュアップ
情報発信、プロモーション ■(一社)南国市観光協会 ・観光パンフレットの発刊、SNS等での情報提供、旅行雑誌等への売込 ・「周遊促進・滞在延長支援事業費補助金」を活用した観光PR動画の作成 ■事業者 ・移動販売車（キッチンカー）を用いた、観光・特産品のPR					SNSやメディア等を活用した 情報発信、プロモーション
観光協会の体制強化 ■(一社)南国市観光協会 ・臨時観光案内所の運営体制の確保 （実施事業：観光案内・ガイド受付・特産品販売・キッチンカー等出店運営・レンタサイクル・お遍路衣装レンタル・手荷物預かり） ・会員増に向けた新規会員の掘り起こし ・SNS・パンフレット等による会員の店舗やイベント等のPRの実施				臨時観光案内所の運営 体制の確保	
				会員増に向けた取り組み 会員への支援	
観光博覧会の開催 ・連続テレビ小説「あんばん」の放送を契機とした「やなせたかしが育ったまち南国市」のPR ・やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催 ・臨時観光案内所の運営 ・デジタル観光ガイドシステム（音声ガイドアプリ）の運用 ・デジタル観光ガイドシステムを活用した周遊企画 ・まち歩きマップの配布					観光博覧会の開催

物部川地域アクションプラン

分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.13 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市)	
実施主体	◎(株)西島園芸団地、南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会、南国市観光施設連絡会	
AP への位置づけ	R3.4 月	
事業概要	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外販の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光客誘致促進	・全体コンセプトの構成とブランディング →産振アドバイザー制度の活用 短期・中期事業計画の策定(R2～4) ブランディング戦略の検討(R2～) 事業構想策定(R4) ・南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した情報発信、旅行代理店へのセールス等、各種イベントの開催	【成果】 ・観光客入込数 R2：64,789 人 →R7：142,026 人 ・売上高 R2：3 億 994 万円 →R7：3 億 9,844 万円 ・ブランドロゴ「Nishijima」、商品パッケージ一新(R3) ホームページ改良(R2) ・店舗レイアウト、内装変更(R4～5) ・新商品 スイカ/パン販売(R3.7) カフェメニュー(R4.1～) フルーツ券拡充(R4.5～) プリスパフェ販売(R4.6) 【課題】 ・観光客入込数及び店舗売上高の増に向けた誘客の継続実施 ・老朽化施設・設備の計画的な更新 ・光熱費等のコスト増
売上増に向けた取り組み	・全体コンセプトの構成とブランディング →産振アドバイザー制度等の活用 短期・中期事業計画の策定(R2～4)<再掲> ブランディング戦略の検討(R2～)<再掲> 事業構想策定(R4)<再掲> 店内レイアウトの見直し 新商品開発(R2～3) →6 次産業化セミナー実践コース受講による新たなカフェメニュー開発(R4) ・通販や百貨店等への販売強化	 ブランド強化 消費者への浸透

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)観光客入込数 ※	120,023 人 (R4)	145,141 人	142,026 人		R9 156,000 人
(2)売上高 ※	3 億 7,844 万円 (R5)	3 億 9,478 万円	3 億 9,844 万円		4 億 2,400 万円

※(1)1 月～12 月、(2)8 月～7 月

第 5 期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
観光客誘致促進 ■(株)西島園芸団地 ・南国市、南国市観光協会、物部川 DMO 協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み WEB 等を活用した情報発信、旅行代理店へのセールス等 いちご狩りやイベントの開催 ・魅力ある店舗づくり レイアウトや内装の随時見直し □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し					観光客誘致の取り組み 魅力ある店舗づくり
売上増に向けた取り組み ■(株)西島園芸団地 ・観光客増による店舗販売の推進 フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し ・地域博覧会を活用した集客の実施 ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売 □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し					店舗販売の推進 外販の推進 地域博覧会を活用した集客
高品質な青果物の安定供給に向けた栽培の取り組み ■(株)西島園芸団地 ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み ・生産品種の随時見直し □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・栽培技術等の向上支援					高品質な商品の安定供給
老朽化施設・設備の計画的更新 ■(株)西島園芸団地 ・栽培ハウス加温設備などの計画更新 □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供					計画的な施設・設備の更新

物部川地域アクションプラン		
分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市)	
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市、地域の体験メニュー等提供団体	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	香南市の自然や文化、歴史などの地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの作成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
旅行商品の造成と販売	・(一社)香南市観光協会による旅行商品化に必要な香南市内の観光情報の一元把握 (H21～) ・旅行商品の企画から販売までの体制の整備 ・香南市観光協会の一般社団法人化及び旅行業第 3 種の登録 (H22)	【成果】 ・主要観光施設入込数 R6：98.3 万人 ・ものべすと周遊ライド R7：131 人
スポーツ・体験観光の推進	・レンタサイクル事業の強化、サイクルイベント等の実施 (H30～) ・ヤ・シイパーク西側自転車道の開通 (R2) ・物部川右岸河川敷自歩道の整備 (R2) ・香南市自転車活用推進計画の策定 (R3) ・ヤ・シイパークレンタサイクル施設の整備 (R3)	・トレイルランニングレースへの参加者数 R7：235 人
地域の観光情報の発信	・市内観光施設等についての情報発信 ・地域の体験メニュー等提供団体によるウォーキング、トレイルランニング、マリンスポーツやサイクリングイベントの開催の情報発信 ・香南こら塩焼そばなど、地域の特産品を活用したメニューや飲食店等の情報発信 ・拠点施設の整備や受入対策等、観光博覧会開催に向けた準備を実施 (R6)	【課題】 ・旅行商品の継続的な企画・販売 ・新たな体験メニュー等、地域の観光素材を活用した観光商品の開発 ・旅行会社等に対する効果的なプロモーション ・地域の体験メニュー等提供団体の人材不足
観光博覧会の開催	・企画展「ごめん・なはり線キャラクターの由来を知ろう！」(R7) ・企画展「防災における やなせたかしと高知県の取り組み」(R7) ・ものべすと周遊ライド (R7) ・観光博覧会推進事業費補助金による事業者支援の実施 (R7)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
主要観光施設入込数 (10 施設) ※	102.3 万人 (R4)	98.3 万人	99.3 万人		111.8 万人

※1 月～12 月

※主要観光施設：

県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シイパーク、絵金蔵、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、黒潮温泉、創造広場「アクトランド」、土佐カントリークラブ

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
旅行商品の造成と販売 ■(一社)香南市観光協会 ・コースプランの作成、磨き上げ、販売 ・旅行会社等へのプロモーション活動 ・観光施設の連携強化のための香南市観光施設連絡会の開催 ■香南市 □県 ・支援制度についての情報提供					旅行商品の造成と販売の実施
スポーツ・体験観光の推進 ■(一社)香南市観光協会 ・トレイルランニングレースの開催 ・スポーツイベント等の開催支援 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・体験観光メニュー（みかん狩り、歌舞伎役者体験など）の造成、磨き上げ ■香南市 ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの主催及び支援 □県 ・関係機関等への橋渡し					スポーツ・体験観光三宝山エリア（4 施設）での取組強化メニューの造成、既存メニューの磨き上げ
地域の観光情報の発信 ■(一社)香南市観光協会 ・HP、SNS 等を活用した情報発信 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・こら等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ■香南市 □県 ・SNS 等での情報発信への協力					インターネット、SNS 等を活用した PR の展開
観光博覧会の開催 ・観光博覧会推進事業費補助金(市)による事業者支援 ・三宝山エリア（4 施設）での取組強化 ・3 市周遊ライドの開催 ・あかおか町歩きガイド ・3 市周遊シャトルバス運行 ・周遊タクシープラン 等					観光博覧会の開催

物部川地域アクションプラン

分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.15 ヤ・シイパークを核とする地域の活性化の推進 (香南市)	
実施主体	◎(株)ヤ・シイ、香南市	
AP への位置づけ	H27.9月	
事業概要	地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めるため、ヤ・シイパークを核とした仕組みづくりに官民一体となって取り組み、地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
ヤ・シイパークを核とした地域の活性化の取り組み	・ヤ・シイパーク将来構想検討会の開催 (H29) ・「ヤ・シイパーク将来構想」を策定 (H30.3月) →産振アドバイザー制度を活用 ・ヤ・シイパーク活性化推進協議会における関係者の情報共有、意見交換 (H30～) 「①【市】ヤ・シイパークランドデザインの策定 (H31.3月) ②【市】マリンスポーツの備品整備 (H30) ③【(株)ヤ・シイ】グランピングの備品整備、イベント開催 (H30) →観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・ヤ・シイパーク整備計画推進調査委託 (R元) ・四国発のユニバーサルビーチ実現に向けた取り組み開始 (R2～) ・今後の公園整備等の方向性を整理 (R2～R4) ・インクルーシブ化に係る設計委託 (R4)	【成果】 ・ヤ・シイパークの入込数 R6：28.4万人 ・「道の駅やす」テナントの売上高 R6：3億3,896万円 【課題】 ・多様な意見をふまえたインクルーシブ化の推進 ・サイクリングやマリンスポーツなどとの連携による観光拠点化の推進 ・効果的なPRの実施
売上増に向けた取り組みの強化	・加工所兼店舗「mana*mana」の整備 (H27) →産振補助金の活用 ・情報発信強化に向けたHPの作成 (H30) →IT導入補助金の活用	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)ヤ・シイパークの入込数※	29.5万人 (R4)	28.4万人	28.5万人		R9 33.2万人
(2)「道の駅やす」テナントの売上高	3億3,513万円 (R4)	3億3,896万円			3億4,873万円

※1月～12月

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
インクルーシブ化の推進 ■(株)ヤ・シイ ・施設の適切な維持管理 ・多様な観光客に対応するためのスタッフの対応力向上 ・バリア情報等の発信 ■香南市 □県 ・多様な観光客を受入れるための環境整備 (市：商業施設側 県港湾・海岸課：パーク側)			施設改修		インクルーシブパークの運営
集客力の向上 ■(株)ヤ・シイ ・観光拠点化に向けた運営体制の確立 ・集客のためのイベント等の検討・実施 ・HPやSNS等を利用した情報発信 ■香南市 ・集客のための設備整備、事業の検討・実施 ・ヤ・シイパークの資源を活用した観光拠点化の推進 □県 (地域本部) ・支援制度についての情報提供、関係機関との橋渡し				集客力の向上に向けたイベント等の検討・実施	
売上増に向けた取り組みの強化 ■(株)ヤ・シイ ・直営店舗の効率的な運営 ・HPやSNS等を利用した情報発信 ■香南市 ・イベント等の情報提供 ・店舗の運営の状況把握と必要に応じた支援 □県 (地域本部) ・商談会等の情報提供、研修会の案内 ・販路開拓等の事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達 ・アドバイザー等支援制度の提案、関係機関との橋渡し				テナントの売上増への取り組み	

物部川地域アクションプラン

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.16 三宝山エリアにおける観光拠点化の推進 (香南市)		
実施主体	(有)北村興産		
AP への位置づけ	H28.4 月		
事業概要	香南市のシンボルである三宝山山頂周辺の整備とアクトランドを中心とした施設整備を進めることで、様々な楽しみ方ができる観光エリアを作り出すとともに、近隣の観光施設等と連携し、県内外から観光客を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。		

※状況を踏まえて設定

主な取り組み	これまでの主な動き	主な成果・課題
施設整備	取り組みの内容 ・事業計画の検討（H30～） ・三宝山山頂の開発着手（R2.2～） ・「ACT FACTORY」(R6.6) 未来のものづくりに携わる人のきっかけづくりの場としてオープン	【成果】 ・マウンテンエリア(三宝山山頂周辺) ・三宝山山頂の整地が完了(R7.8) ・ダウンエリア(アクトランド周辺) ・「ACT FACTORY」R6.6オープン 【課題】 ・事業計画の詳細設計の検討 ・地域住民等との調整

第5期計画における行程表

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
施設整備 ■(有)北村興産 ・事業計画の検討・実施 三宝山開発、アクトランド及び周辺整備	施設を順次整備			
☐ 香南市、県 ・詳細設計に必要な関係者との協議・調整				
☐ 県(地域本部) ・関係機関との橋渡し、支援制度の情報提供				

物部川地域アクションプラン

分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.17 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市)	
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市、(株)香北ふさとみらい、地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体	
AP への位置づけ	H28.4月	
事業概要	香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
体験型観光メニューづくりと推進	・アンパンミュージアム開館 25 周年記念行事 (R3) ・宿泊 3 施設 (龍河温泉、湖畔遊、スックスキャッチン) の新設・改修 (R3) →観光施設等緊急整備事業費補助金 (おもてなし旅館ホテル等環境整備緊急支援事業) の活用 ・香美市観光資源 PV 制作(R3)→新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用 ・「歴史・史跡に関する委員会」及び「宿泊・交通に関する委員会」を「香美市はまっこえいじくじやき委員会」に統合(R4) →「ノルディック・ウォーキング体験会」(R4)、「巨木・銘木に出会、香美(神)巡り」(R4)などの造成 ・香美市宿泊施設等緊急整備事業の実施 (R6) ・地域おこし協力隊(1 名)の雇用 (R6) ・観光ガイド養成講座の開催(R6)	【成果】 ・やなせたかし記念館の入込数の増加 R2:68,223 人 →R7:227,497 人 ・龍河洞の入込数の増加 R2:76,509 人 →R7:154,408 人 ・「土佐塩の道 30 km ough ーく」の開催 R3:97 人(※R2 は中止) →R7:125 人
観光協会の取り組みの推進	・観光協会の HP や SNS、広報紙を活用した情報発信 ・「香美市に泊まろうキャンペーン」(R3～)「香美市観光プレミアムチケット事業」の実施 (R3) ・「香美市おしゃれ Cafe 巡りキャンペーン」(R4)の実施 ・観光ガイドブックの作成 (R6)	【課題】 ・体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 ・香美市観光協会と物部川 DMO 協議会が連携した新規イベントやツアーの定期的な開催、効果的な PR の実施
香北エリアを中心とした観光活性化	・kami trip 学芸員とめぐるアンパンミュージアムとやなせたかしの聖地巡り (R3) ・天文講演会及び星空展望会、在所隕石里帰り展 (R3) ・アンパンミュージアム周辺会議の開催 ・日ノ御子アウトドアフェスの開催 (R6) ・拠点施設の整備や受入対策等、観光博覧会開催に向けた準備を実施 (R6) ・「愛と勇気の道」にカメラエリアの街頭を設置(R7)	
観光博覧会の開催	・特別展示「やなせたかし ぼくと誌と絵と人生と」(R7) ・やなせたかしゆかりの地での定時ガイドの実施(R7) ・臨時観光案内所の運営 (R7)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 (3 施設) ※	22.0 万人 (R4)	25.7 万人	38.7 万人		28.8 万人

※ 1 月～12 月
※ 主要観光施設：香美市立やなせたかし記念館、龍河洞、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアントリゾート

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成 ■(一社)香美市観光協会 ・体験型観光メニューの磨き上げ及び新メニューの造成 ■地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体 ・体験型観光メニューの円滑な実施、観光協会への新メニューの提案					観光資源磨き上げ 新メニューの造成
受入体制や窓口機能の強化 ■(一社)香美市観光協会 ・ガイドの育成、パンフレットの多言語化 ・地域内の観光施設等との連携による受入体制の強化 ■香美市 ・SNS 等を活用した情報発信機能の強化 □県 (観光振興スポーツ部、地域本部) ・ガイド育成支援策等の情報提供					受入体制の強化
観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信 ■(一社)香美市観光協会 ・観光イベントの開催、HP や広報紙を活用した情報発信 ・周辺観光施設と連携し、旅行会社等へのセールス活動の実施 ・高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・二ノ等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供					イベント開催・情報発信
周辺施設や地域との連携体制の構築 ■(株)香北ふさとみらい ・香北周辺の観光施設と連携した宿泊プランの造成 ・地域資源を活用した体験プログラムのメニュー化					関係機関との連携強化
観光博覧会の開催 ・やなせたかしゆかりの地での観光ガイドの実施 ・混雑緩和策の実施 ・臨時観光案内所の運営 ・やなせたかし関連の企画展、イベントの実施、情報発信 ・周遊キャンペーンの実施					観光博覧会の開催

物部川地域アクションプラン		
AP 名 (実施地域)	No.18 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)	分野 観光
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市	
AP への位置づけ	H29.9月	
事業概要	日本三大鍾乳洞の一つに数えられ、高知県を代表する観光資源である龍河洞を中心として、国内外の観光客を誘致し、観光振興を図ることで地域を活性化する。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討	・龍河洞エリア活性化協議会の設立（H29.3） ・龍河洞エリア活性化基本計画の策定（H29.10） ・洞窟内のコンテンツの整備、駐車場整備等 →観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・西本洞/水の洞窟オープン（R3.4） ・老朽化施設の解体、龍河洞情報館の整備等（R2～4） →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用（R5.3 オープン） ・サイン整備（R5～6） →香美市観光拠点等施設等整備事業費補助金の活用 ・解説無料アプリ「ポケット学芸員」の運用（R7～）	【成果】 ・冒険コース体験者数 R2：1,629 人 →R6：2,839 人 ・西本洞体験者数 R3：144 人 →R6：296 人 ・雇用創出 R2：23 人 →R6：29 人 【課題】 ・老朽化施設や閉鎖施設の活用方法
広報、PR 活動	・新聞、テレビ、地元情報誌等を活用した情報発信 ・旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施（R2～） ・教育旅行説明会への参加、教育旅行用パンフレットの作成及び配布（R2～） ・教育旅行パンフレット（デジタル版）の作成、配信（R5～） ・情報館を活用した、普及啓発の実施（R5～） ・研究者、関係機関と連携した公開講座の実施（R4～） ・集客イベント（龍河洞祭り、クリスマス、正月等）の実施	
集客イベントの開催		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
観光客入込数※	13.0 万人 (R5)	13.8 万人	15.4 万人		16.5 万人

※1月～12月

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
龍河洞エリア活性化基本計画の推進 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会 ・サイン整備 ・基本計画の総括 ■香美市 ・補助金によるサイン整備の支援 ・基本計画の総括 □県（地域本部） ・基本計画の総括			サイン整備		
龍河洞エリア全体の振興策の検討 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会 ・老朽化施設及び閉鎖施設の活用方法等の検討 ・閉鎖した民間施設への対応 ■香美市、□県（地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供			基本計画の総括		老朽化施設等の活用方法の検討
広報、PR 活動 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい ・教育旅行のセールスの強化 ・海外からの旅行者や客船を対象としたセールスの強化 ・新聞、雑誌での情報発信、観光商談会等での PR 活動 ・学術研究成果の活用				広報、PR 活動	
集客力の向上 ■(公財)龍河洞保存会 ・集客イベントの開催 ■(株)龍河洞みらい ・集客イベントの企画運営					イベントの開催

物部川地域アクションプラン		
分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.19 べふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興 (香美市)	
実施主体	◎ 香美市、(一社)香美市観光協会、観光事業者	
AP への位置づけ	R6.4 月	
事業概要	美しい自然に恵まれた奥物部のべふ峡温泉と周辺の観光資源を活用し、物部エリアの観光振興を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
べふ峡温泉の運営再開に向けた取り組み	・県内有数の紅葉の名所であるべふ峡へのさらなる観光客誘致に向けオープン（S60） ・専属のシェフによるジビエ料理を提供するほか、県の観光キャンペーンを活用し積極的なPRを実施 ・香美市に泊まろうきやんべーんへの参加（R3～5） ・財務会計及び優位性分析調査（R5） ・高知県観光活用希望資産リストへの登録（R6）	【成果】 ・べふ峡温泉利用者 H25：26,726人 →R5：11,038人 (R6.4より休業中) 【課題】 ・べふ峡温泉の運営再開 ・物部エリアの観光資源の活用
べふ峡を中心とした観光振興	・物部川アマゴ釣り大会の開催（R4） ・物部大橋ノルディック・ウォークの開催（R4） ・土佐塩の道ウォークの開催（H21～） ・土佐塩の道トレイルランニングレースの開催（H24～R4） ・白髪山登山の開催（R4） ・シカニクの日イベントの開催（H27～R元） ・シカニクフェア（R2～） ・べふ峡温泉ランチバイキングの開催（R5） ・べふ峡温泉「松尾酒造のお酒を楽しむ会」（R5） ・奥ものベ青空市の開催(R4～） ・集落活動センター・奥物部の開所(R7)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
－（※）					

※今後の検討状況を踏まえて設定

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
べふ峡温泉の運営再開に向けた取り組み ■ 香美市 ・新たな指定管理者選定の条件の検討 ・新たな指定管理者の選定及び実施設計 ・温泉施設等の改修 ・経営改善に向けた具体策の検討・実施 □ 県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供			指定管理者選定の条件検討		
				指定管理者の選定及び実施設計	
					施設改修
			経営改善策の検討		改善策の実施
べふ峡を中心とした観光振興 ■ 香美市、(一社)香美市観光協会、観光事業者 ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施 □ 県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供				べふ峡を中心とした観光振興策の検討・実施	